

愛厚ホーム大府苑慰問・八三才大府慰問



文化福祉部会だより



ひとり暮らし高齢者との交流会

交通防犯部会

交通安全啓発の午後

2月12日開催



大府コミュニティだより
ふれあい

編集発行

大府コミュニティ

推進協議会

調査広報部会

事務局

大府公民館

TEL48-1007

助けあう

家庭と地域を

創造しよう

大府公民館「芸能祭」

2月20日
開催



家庭教育部会

青少年健全育成フォーラム

金メダリストに

お話を聞こう

ありがとう、伊調馨さん

中田 紀子

「大府コミュニティに来てね」

アテネオリンピック金メダリストたちの祝勝パレードについて歩きながら、私は思わず伊調馨さんに大声で呼びかけた。すると「はい」元気のいい返事が返ってきた。私の声が聞こえて返事してくれたのだろうか。半信半疑だった。

『トレーニングパンツで、ちょっと横根体育館へ来ていただけませんか』と、レスリングで金メダルを取った次の日、大学の事務局を通して頼んであったのだけれど。

同じ市内のこんな近くに、世界の金メダリストたちが住んでいる。中京女子大生の三人が日本代表に決まったときから、ぜひとも、大府の子どもたちに話を聞かせて欲しいと思っていた。そして三ヶ月後、やっと願いがかなって、馨さんが子どもたちに話をし

にきてくれた。スタッフが何度も集

まって準備をした『ランドゴルフと金メダリストにお話を聞く会』参加者一二〇名。子どもたちは聞きたいことをいっぱい質問して、馨さんがていねいに答えてくれた。じゃんけんで勝った子がサインをもらったり、腕相撲をしてみたり。写真も一緒に撮って、みんなで作った腕のアーチの中を帰っていった。

私は送っていった車の中で聞いてみた。「あのパレードのとき、私が『大府コミュニティに来てね』っていったの聞こえましたか？」すると馨さんはいった。「聞こえましたよ。だから、『はい』って答えたんです。」あの喧騒の中で思いが通じていたんだ！

子どもたちに、夢と勇気を与えてくださった馨さん、本当にありがとう。北京オリンピック、みんなで応援しています。私たちがこんなに喜んでい



大府小学校 6年3組

原 史樹

ぼくは、ランドゴルフをやって、すごく良い経験ができました。

ぼくは、ランドゴルフを初めてやりました。だからすごく難しかったけど、9グループあったうち、2位になりました。伊調さんのように1位にはなれなかったけど、初めてやって2位とはすごい良い結果だったのです。うれしかったです。

ぼくはこんな身近な所でオリンピックのメダリストに会えるなんて、夢のようでした。

また、このような機会があったら、もう一度参加したいと思います。



大府小学校 6年3組

星野 健太

この体験で、ぼくは「ランドゴルフって楽しいなあ。」と思いました。なぜなら、野外でのびのびと、とても楽しいゴルフのプレイができるからです。

僕は、4年生の時、パターゴルフクラブに入っていました。けどランドゴルフは、パターゴルフとは、違う楽しさがいっぱいあります。

また機会があれば、ぜひ、またゴルフをしたいです。

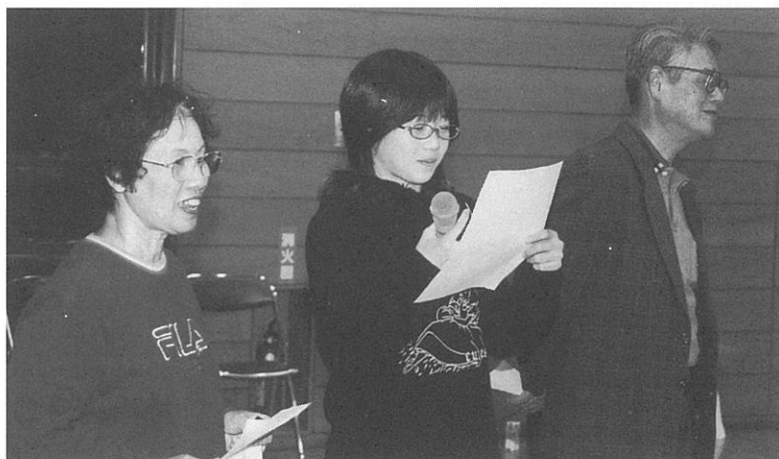


「伊調 馨さんが
子供たちからの質問に
答える形でプログラムが
進められました。
ほんの一例を掲載します」

小学校時代は卓球部で、キャプテン
でした。中学校時代は柔道部でした。
青森出身なので県では1位、東北大会
では3位でした。

問2 レスリング以外に
何がスポーツをやっ
ていましたか。

問1 レスリングは、何歳
から始めましたか
おむつをしている頃からです。笑い。



いい夢がみられるように枕の下にし
まっています。

問4 メダルは、いつもどこ
にしまっていますか。

自分は、ダンベルとか重いものをも
つて筋肉をつけるのが苦手で、走りこ
みとかレスリングの練習は大好きです。
しかし、嫌いな事もしっかりやろうと
しています。

問3 練習で一番つらいことは



夢を長く持つて続けることが大切だ
と思います。それと目標をたてて努力
してください。

問5 自分は陸上で高飛びを
やっていて、これからも
がんばっていききたいです。
がんばっていくためのア
ドバイスをお願いします



あの人この人

笑顔のまわりに人が集まる若きリーダー

山下 康二さん

―若草町二―

毎月、第一第三木曜日の夜、山の神社の社務所に元気な男の子たちが集まっています。祭ばやしの横笛の練習をするためです。今回このコーナーに登場していただくのは、長年にわたってその指導を続けてみえる山下康二さんです。山下さんは子どもが大好き。ひとり息子さんがスポーツ少年団で野球をやっていた時には、ひとりの親として文字どおりその一挙手一投足に一喜一憂。普通はその時だけで終わりののですが、山下さんはその後息子さんが中学生になって団を離れてからも、入団後初めてボールを握った二年生、三年生の子どもたちのリーダーをかつて、日曜日の朝のグラウンドにむかいました。横笛や野球を通じて山下さんのお世話になった子どもたちがこの学区にはたくさんいます。街で、それぞれ成長した彼らに会うことがあると明るく声をかけてくれるのがとても嬉しいそうです。山下さんの前では、皆自分が小さかった頃の気持ちがよくみえてくるのでしょうか。



で十九年にわたり活動し、特に、健康部会において長い間その中心的存在としてコミュニティ運動会の運営をはじめとする諸行事をささえてくださいました。その一方で、大府商工会議所青年部の一員としても、春の大倉公園つじまつり、大府駅前夏まつり、冬の「大府駅前イルミネーション」「シューティングスター」などの事業にとりくんでみえます。これらのどれをとってもこの地域にはかせないものばかりです。すべて大府を愛する人たちが自分たちの街をより楽しくより活性化したいとの願いにささえられています。その中心にいつも山下さんたちの笑顔

があります。その他にも大府小学校のPTAや子ども会においてもリーダーシップを発揮し、実践活動をしてみえました。

こんなふうな地域でのボランティア活動を長年続けてこられた山下さんが本業の建築業に加えて、老人介護のお仕事を始められたのは一昨年のこと。年末年始とお盆休み以外年中無休で、食事やおやつはすべて手づくり。集まってみえるおとしよりとのふれあいを大切に、心のこもったケアが提供されています。時には山下さん自身が趣味のギターをかかえてワンマンショーをなさることもあるとか。子どもが好き、人間が好きという山下さんならではの愛情が土台となつて、初めてこういう大変な事業がなりたっていくのだらうなと感じました。

最後に、コミュニティをはじめとする地域の活動に関して「こんな時代だからこそ、いろいろな人たちの新しい力をどんどん取り入れられるような仲間づくりができる」といいのだけれど、それがなかなか大変だね。」とひとことその大切さと難しさを一番わかってみえるのかもしれない。人と人とのふれあいを大事に、子どももおとなもそしておとしよりも笑顔ですごせる大府の街にとって、山下さんはこれからの活躍されるであろうことを確信してインタビューを終えました。

ありがとう



三月になってからも雪の便りを耳にする一方で、例年より早く土筆が顔をのぞかせているのをみつけました。季節はどんな時も確実に前進しています。セントレアの開港をスタートに、金シャチが地上に舞い降り、ついに愛・地球博が開幕しました。ものづくり愛知を全国に、いや、全世界にアピールするチャンス到来です。子どもたちだけに総合学習をおしつけるのではなく、おとなも一緒に、環境問題その他、生きる力を求めて、楽しみながらいろいろなことを学びましょう。

平成17年度

大府コミュニティ
総会 開催

●とき

4月17日(日) 午後7時より

●ところ

大府公民館 大会議室